

# 利尻町碎石事業経営戦略

令和8年3月

利尻町碎石事業所

## 利尻町砕石事業経営戦略

団 体 名 : 利 尻 町

事 業 名 : その他事業

策 定 日 : 令 和 8 年 3 月

計 画 期 間 : 令 和 8 年 度 ~ 令 和 17 年 度

※複数の施設を有する事業にあつては、施設ごとの状況が分かるよう記載すること。

## 1. 事業概要

## (1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	法適用	事業開始年度	昭和42年度
事業の種類	砕石製造販売	施設名	利尻町砕石事業所
事業所所在地	利尻郡利尻町沓形字種富町292番地		
採取場所所在地	利尻郡利尻町沓形字種富町 宗谷森林管理署116林班		
事務部門職員数	3名 (うち会計年度任用職員1名)	製造部門職員数	6名 (うち会計年度任用職員5名)
事業の内容	当事業所は、利尻・礼文両島及び本土近隣地区の社会資本整備等の推進に資することを目的に、その骨材となる石材の安定供給を担うため昭和42年に事業を開始し現在に至る。 その間、SDGsの推進等により、コンクリートやアスファルト廃材を利活用するリサイクル骨材の需要増加などもあり、それらの受託製造事業も実施している。 また、平成20年度にJIS認証を受けたコンクリート用砕石の需要が高まり、付加価値のある砕石の生産販売を行っております。		

## (2) 価格形態

価格設定の概要	当事業所は公営であることから、骨材を安定供給することを念頭にしつつ健全経営を図るため、砕石の製造原価や事務管理費等を勘案し、砕石の種類サイズごとに近傍同業他社の価格等を参考に価格設定を行う。	
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	令和7年4月1日	

### (3) 現在の経営状況

経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	R4	100.08%	R5	100.30%	R6	100.10%
-------------------------------------	----	---------	----	---------	----	---------

【上記の状況等を踏まえた現在の経営状況の分析】

本砕石事業は、経常収支比率等も100%を上回っており、一般会計からの繰入金もなく健全な経営状況にある。しかし、砕石骨材の需要は公共工事に依存しており、将来の販売収入を見込むことが非常に困難である。また、支出にあっては離島という特殊地域であることもあり、備品・消耗品も含め、動力源である電力や燃油などの運送料も加算され急激な物価高により、経費の抑制が難しい状況であることから、精度の高い需要の把握に努め、それに対する経費の積算が重要と考える。

さらに、更新が必要な施設・設備があることから、計画的な更新や使用頻度の低い重機等は廃止するなど取捨選択を行い、適切な更新投資を図ってゆくことが重要と考える。

## 2. 将来の事業環境

### (1) 石材需要の見通し

社会資本整備に必要なコンクリート等に不可欠の建設資材であるが、地域における公共事業の減と、循環型社会の推進に伴うコンクリート塊由来の再生骨材が路盤材として利用されており、道路等の路盤材としての砕石の出荷量は減少するものと思われる。

また、コンクリート用骨材については、新規の港湾・漁港の整備や河川等の工事が見込まれないことから、大規模な新規整備計画等が無ければ、需要の伸びは期待できないと思われる。

### (2) 販売収入の見通し

離島という地理的環境から、販売先地域が限定され且つ石材需要が公共工事に依存しており民間需要が期待できないことから、石材需要の動向や生産費用を考慮しながら随時販売単価の改定を実施し、適正な収入を確保する。

### (3) 老朽化対策の見通し

砕石現場で使用する重機等の車両については、購入年や稼働時間等を考慮しつつ適宜更新を行う。

また、施設・設備については、大部分が老朽化が進んでおり、特に各種砕石プラント施設や高圧電源設備等の大規模改修や更新が必要なため、積極的に維持補修を行い施設設備の長寿命化を図りながら、更新に必要な財源も含めた検討が必要である。

## 3. 経営の基本方針

利尻・礼文両島地区や近隣本土地域へ骨材の安定供給を図るため、次の事項に重点を置く。

- ・常に品質の安定した製品の製造に努める。
- ・製作用業の効率化や合理化を進め、コストの低減を図り適切な価格設定に努める
- ・安全操業を第一に、労働事故や交通事故の防止や労働者の健康保持に努める
- ・公営企業としての理念に基づき、健全経営を保持しつつ地域社会に貢献する

## 4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

### ① 収支計画のうち投資についての説明

重機や施設設備については、更新財源を確保しつつ順次更新を行う。

### ② 収支計画のうち財源についての説明

石材需要や生産費用など製造原価等を踏まえ、管内単価を考慮しながら販売単価の改定を随時実施する。

### ③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

人件費にあつては、労働各法を順守し必要な人材確保に努めつつペースアップや各種手当を確保する。  
また、物資等資材の購入に当たっては、価格調査などを実施し適切な購入数量や購入時期を検討する。

## 5. 公営企業としての実施する必要性

利尻・礼文両島の社会資本整備における骨材の安定供給は非常に重要であり、公営企業であることから短期的な経営悪化等により早急な事業廃止等も起こりにくいことから、離島という特殊環境においては民間経営よりも公営企業による経営が望ましいと考える。

## 6. 経営戦略の事後検証、改定などに関する事項

実績数値との乖離を修正するため、PDCAサイクル等の評価・検証により必要に応じて収支計画を修正する。



## 投資・財政計画 (収支計画)

(単位:千円)

区 分		年 度	前々年度	前年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
		(決算)	(決算)	(決算)										
資本的収入	資本的収入	1. 企業債												
		うち資本費平準化債												
		2. 他会計出資金												
		3. 他会計補助金												
		4. 他会計負担金												
		5. 他会計借入金												
		6. 国(都道府県)補助金												
		7. 固定資産売却代金												
		8. 工事負担金												
		9. その他												
	計 (A)													
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)													
	純計 (A)-(B) (C)													
資本的支出	資本的支出	1. 建設改良費				15,000		10,000		25,000		40,000		15,000
		うち職員給与費												
		2. 企業債償還金												
		うち資本費平準化債償還金												
		3. 他会計長期借入返還金												
		4. 他会計への支出金												
5. その他														
計 (D)						15,000		10,000		25,000		40,000		15,000
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (E)		(D)-(C)				15,000		10,000		25,000		40,000		15,000
補填財源	補填財源	1. 損益勘定留保資金				15,000		10,000		25,000		40,000		15,000
		2. 利益剰余金処分量												
		3. 繰越工事資金												
		4. その他												
計 (F)					15,000		10,000		25,000		40,000		15,000	
補填財源不足額 (E)-(F)														
他会計借入金残高 (G)														
企業債残高 (H)														

○他会計繰入金

(単位:千円)

区 分		年 度	前々年度	前年度											
		(決算)	(決算)	(決算)											
収益的収支分															
うち基準内繰入金															
うち基準外繰入金															
資本的収支分															
うち基準内繰入金															
うち基準外繰入金															
合 計															